

未来へ輝け！

新産会



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 江崎 賢一
編集責任者 岡本 悦生
令和元年6月26日 発行

<http://www.shinsankai.gr.jp/>

未来へ輝け！納涼会のご案内

毎年恒例の「納涼会」を下記の通り開催します。
冷たいビールで暑い夏を乗り切りましょう！
たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

**8月6日（火）18:30～20:30**

※納涼会に先立ち、18:00より理事会を開催します。
理事以外の方の参加も大歓迎です。是非お早めにお越しください。

**「E-スカイ幼稚園」7F**

住所：名古屋市中区丸の内 3-8-14 TEL：052-973-0221
アクセス方法：地下鉄名城線「久屋大通駅」から徒歩約5分
久屋大通駅1番出口より桜通りを西へ80m、
伊勢町通を北へ約300m左側



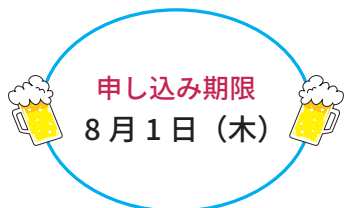
google map

※駐車場はありません。お車の方は近隣のコインパーキングをご利用ください。

**6,000円**

※食材の仕入れの関係上、8/2（金）以降のキャンセルはキャンセル料が発生します。
・カラオケ大会を予定しております。
・社会福祉法人中日会様より、多くの保育士の皆様にご参加いただきます。

参加申込書

**申し込み期限****8月1日（木）**8月6日（火）の **納涼会** に、【参加 / 不参加】

※どちらかに○をつけてください。

期 氏名

新産会スタートアップ勉強会

令和元年6月11日（火）に、あいち産業振興機構との勉強会として、理事長の梶藤和彦様をお迎えし、愛知県産業局中小企業金融課、課長補佐 薮下様より、「Aichi-Startup 戦略～あいちスタートアップ・エコシステム構築に向けて～」と題して、ご講演いただきました。薮下様は金融課の仕事については、4年のキャリアを持ち、スタートアップの事業には今年の4月より携わっています。愛知県は昨年度より、本格的にスタートアップ支援の事業をスタートしています。



スタートアップ・エコシステムとは

スタートアップが単発の事業とならず、継続的に発展できるようなシステムを作り上げるという意味が込められています。その背景として、愛知県をとりまく状況において、特に自動車産業においては、AIなどを用いた自動運転技術、電気自動車を代表とする内燃機関に代わる動力機関の事業化など、大きな転換期になるといわれています。その中で、愛知県として、スタートアップ企業を起爆剤として地域産業を活性化することを目的としています。

Aichi-Startup 戦略における、あいちスタートアップ・エコシステムの概念

「スタートアップの創出⇒オープンイノベーション⇒アウトバウンド効果・拡大」の流れを作り、「あいちへのインバウンドの強化・拡大」にもつなげ、そして、エコシステムのサイクルを作ることが、イノベーション創出土壤の形成への理念・目的となります。愛知県独自のものづくり融合型のスタートアップ・エコシステム形成の大きな特徴としています。

愛知県は、さまざまなスタートアップ企業と、多様な企業、高度教育機関、行政との連携を図りながら、国内だけではなく、海外との連携も強化しながら、世界イノベーション都市の形成を図ることを目指しています。また、「あいちスタートアップキャンプ」のような支援の活動により、スタートアップ人材の育成にも力をいれています。スタートアップ支援のための融資の拡大や、海外のスタートアップに対して門戸を広げる目的で、外国人創業活動促進事業として、特区の制度を用いて、在留資格（経営、管理）の要件の緩和（企業準備活動の入国、在留期間を6カ月⇒1年へ）なども実施し、国内、国外のスタートアップに対する支援も行っているとのこと。今までのモノづくりは、より完成度の高いものを追究したのち、市場にリリースするという方法が、日本のモノづくりの基本的な開発の流れでしたが、市場にリリースされるまでのスピードが遅いという大きな欠点があります。より開発のスピードをアップさせるために、アジャイル型の開発を支援する事業も行っています。試作品の即時提供、部品、完成品の量産提供なども推進しています。試作と失敗を繰り返し、より素早く、市場に投入できるような開発モデルも提案。Aichi-Startupの推進体制として、推進ネットワークとして、さまざまな企業、大学との連携を行っていき、より一層の拡大を目指しているとのことでした。

愛知県をとりまく産業は大きな転換期が訪れているといわれています。我々会員としても、既存の事業だけではなく新しいイノベーションにつなげられる、新たなビジネスの展開も積極的に取り組むべきだと大いに感じました。大変、有意義な講演会となりましたが、当日、初めての慣れない司会進行につきましては、何卒ご容赦いただければと思います。本当にありがとうございました。

懇親会（チャイナ&ダウンにて開催）

薮下様、梶藤理事長様にも参加いただき、会員との意見交換ができました。私自身が、スタートアップ事業について聞きたかったこと、例えば「イノベーションは、既存権を破壊するインパクトがある場合もあるが、大手企業は積極的にスタートアップを支援できるのか?」、「名古屋市も同様の事業を行っているが、相互連携はどうなのか?」などの質問に丁寧に答えていただきました。ありがとうございました。

40期 野村昭郎

